

ゆにふあんマップを のぞいて!



運営団体：公益社団法人ユニバーサル志縁センター (<http://www.u-shien.jp/>)

ご協力をお願いします



村木厚子
運営団体顧問

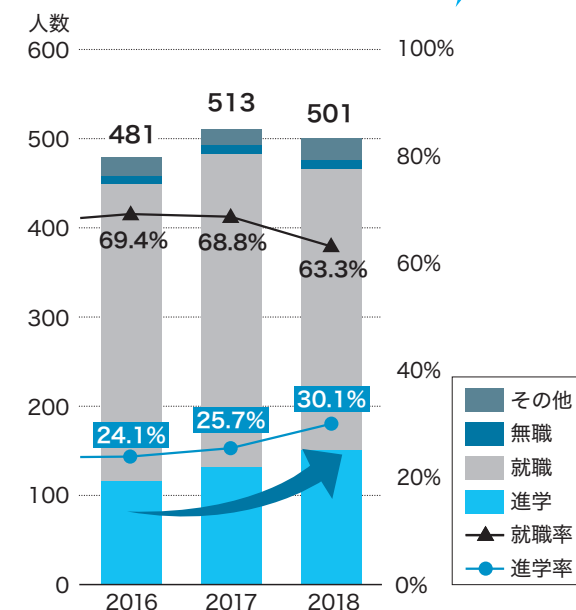
少子化が大きな課題と言いつつ、生まれてきた子どもを応援できているでしょうか。とりわけ厳しい環境で育った子どもには、丁寧な支援が必要ですが、児童養護施設やNPO法人などの心ある人たちの「持ち出し」の資金と情熱で成り立っているのが現状です。どうか皆さんのお力を貸してください。

伴走型支援で若者おうえん!

施設などを離れる若者に一対一で寄り添う、伴走型支援をさまざまな団体が行っている。「若者おうえん基金」は、そうした団体への助成を通じて若者を支援している。また、団体・個人、協同組合、学識者などと連携して、就労・キャリア支援、政策提言などのサポートを行っている。

自立支援・退所後支援の充実によって進学率は上昇し、進路の選択幅が広がることが期待されている。

■児童養護施設退所直後の進路状況の推移



出所：「全国児童養護施設調査2018社会的自立と支援に関する調査」より連合作成

ねえ、つながっちゃお!! ゆにふあん活動事例集

ゆにふあんマップで できること

- 情報共有
- ボランティア募集
- 物資支援の募集
- クラウドファンディング

第2回

施設や里親の下で育った若者たちをサポートする「若者おうえん基金」

社会貢献の分野

- 働く人を応援
- 貧困から守る
- 教育・子育てを応援
- 障がい・介護を支える
- 自然を守る
- フードバンク・子ども食堂
- 地域を元気に
- 被災地を応援
- 動物を守る
- その他

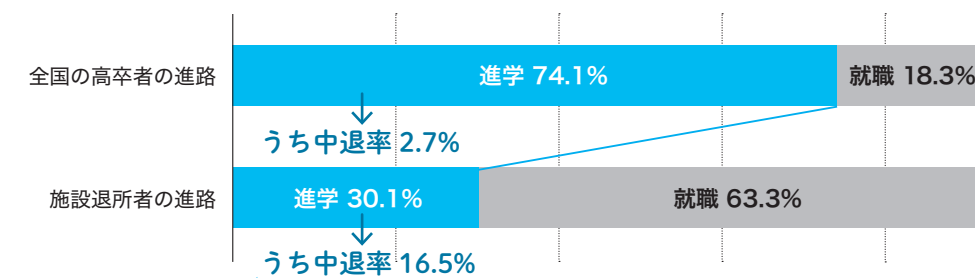
「若者おうえん基金」とは?

児童養護施設や里親など、「社会的養護」と呼ばれる公的な支援のもとで育つ子どもたちは約4万6000人。貧困や虐待、両親の不慮の事故・病気など、幼いころに辛い経験をしている人も多く、施設等を出た後も、学び、働き、暮らすうえでもさまざまな困難に直面している。そのような若者たちが、社会の中で自立して生きていくことを支援する基金である。

なぜ支援が必要なの?

18歳になると施設や里親家庭を出なくてはならない。進学・就職をする際には、学費や生活費なども自分で働いたお金でまかなうなど経済面の負担が一身にのしかかってくる。また、悩みや将来についての相談ができる大人たちがいないことが、就学や就労に大きく影響している。

■児童養護施設退所直後の進学状況の比較



出所：2012、および2018「全国児童養護施設調査 社会的自立と支援に関する調査」より連合作成

生活費・学費のため、多くの時間アルバイトせざるを得ず、学業への支障や心身不調との関連性が推測されている。

「ゆにふあん」とは、労働組合独自で展開しているボランティア活動や、地域でお付き合いのあるNPO・NGOなどと連携した活動を「見える化」して、個人の意思で活動に参加することや、物資や資金などを支援することができる仕組み。「支え合うこと、助け合うこと」をもっと身近に、そして社会に広げていく。第2回は、連合東京推薦の公益社団法人ユニバーサル志縁センターが運営する「若者おうえん基金」を紹介する。

連合も

“ゆにふあんクラウドファンディング” を応援しています



連合の中央執行委員会にて。
ユニバーサル志縁センターの池本専務理事(中央)

プロジェクト名

施設や里親の下で育った若者たちをサポートする若者おうえん基金

締切

2020年5月12日(火) 23:00まで

目標額

300万円

詳しくはこちら

